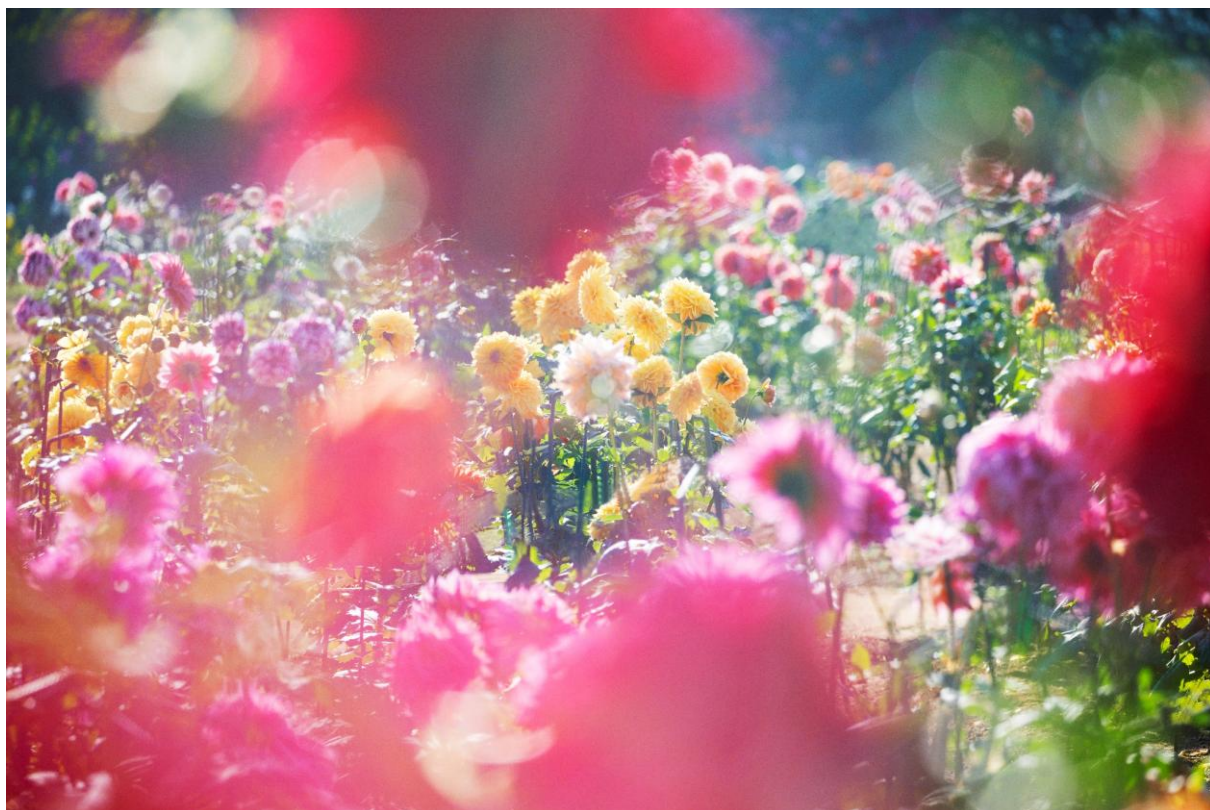


銀座店アートギャラリーにて蜷川実花氏の作品展示「花、瞬く光」開催 銀座から世界へ発信する、日本のクリエイティビティ第二弾

株式会社ジンス（以下 JINS）は銀座・中央通りに誕生したグローバル旗艦店「JINS 銀座店」アートギャラリーの展示第二弾として、アーティスト・蜷川実花氏による作品展示「花、瞬く光」を2026年5月1日（金）から7月31日（金）まで開催します。



©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

伝統と革新が交差する銀座。アートを通じて「縁」を紡ぐ、新たな鑑賞体験

伝統と革新が息づく銀座のまち。その中心で新たな発信拠点となる「JINS 銀座店」は、建築家・藤本壮介氏が「柔らかな和」をコンセプトに、左官の手仕事で実現した独創的な外観が特徴です。

1階と地下1階で対照的な表情を見せる店内には、彫刻家・名和晃平氏の作品《Snow-Deer》を迎え入れました。吹き抜けの空間を活かし、あらゆる角度から作品を鑑賞する体験を通じ、訪れる人々に新しい視点と気づきを提供します。

JINS 店舗初となる地下1階のアートギャラリーは、日本発のクリエイティビティを世界へ発信する舞台です。アートを介して人々が集う開かれた場所として、銀座のまちやお客さまと店舗コンセプトでもある「縁（えにし）」を紡いでいくことを目指します。

アーティスト・蜷川実花氏が捉える、光と色彩の一瞬の瞬き

アートギャラリーの展示第一弾では、いけばなの根源、池坊の次期家元専好氏による「立花（りっか）」を展示し、日本の伝統的な美意識と深く向き合いました。

今回の第二弾では、独自の視覚表現で国内外から高い支持を得るアーティスト・蜷川実花氏を招聘。作品展示「花、瞬く光」は、見ているとまるで写真のなかの光と溶け合っていくような、鮮やかで新しい鑑賞体験へと導いてくれます。

JINS はこれからも、日本が誇るクリエイティビティの多様な魅力を銀座から世界へ発信し続けます。

アーティスト・蛭川 実花（にながわ みか）氏コメント

作品展示名：花、瞬く光
英題：Flowers, Shimmering Light.

窓を開けた瞬間に溢れ出す光のように、
世界はこんなにも色彩に満ちている。

すべては美しく移ろい、
二度と同じ表情を見せることはない。

その一瞬の瞬きを、
消えてしまう前にそっと掬い上げ、
手元に留めておきたい。

シャッターを切るたびに、
私はこの世界の光と深く溶け合い、
揺らぎそうな輪郭をかりうじて保っている。

アーティストプロフィール

写真家、映画監督、現代美術家。
写真を中心として、映画、映像、空間インスタレーションも多く手掛ける。クリエイティブチーム「EiM（エイム）」の一員としても活動中。木村伊兵衛写真賞ほか数々受賞。2010年ニューヨークのRizzoliから写真集を出版。また、『ヘルタースケルター』（2012年）、『Diner ダイナー』（2019年）をはじめ長編映画を5作、Netflixオリジナルドラマ『FOLLOWERS』（2020年）を監督。これまでに写真集120冊以上を刊行、個展150回以上、グループ展130回以上と国内外で精力的に作品発表を続ける。個展「蛭川実花展 with EiM：彼岸の光、此岸の影」（京都市京セラ美術館、2025年1月-3月）は、25万人を動員。最新の写真集に『VIRA』（bookshop M Co., Ltd.、2026年）、『mirror, mirror, mirror』（光村推古書院、2026年）がある。

<https://mikaninagawa.com>

主な展覧会／

グループ展「I'M SO HAPPY YOU ARE HERE」Palais de l'Archevêché、2024年
グループ展「Tokyo：Art & Photography」アシュモレアン博物館、2021年-2022年
「MIKA NINAGAWA INTO FICTION / REALITY」北京時代美術館、2022年
「蛭川実花展」台北現代美術館（MOCA Taipei）2016年



展示概要

【期 間】 2026年5月1日（金）~7月31日（金）
【タイトル】 花、瞬く光
【入 場 料】 無料。予約不要でどなたでもご覧いただけます。

店舗概要

【店 舗 名】 JINS 銀座店
【営 業 時 間】 10:00~20:00
【所 在 地】 東京都中央区銀座四丁目5番1号
【展 開 本 数】 約700種
【店 舗 面 積】 138.08坪（地下1階~地上1階）